

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	成人各種健康相談事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	健康福祉部 健康増進課		担当者	鈴木由佳			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり				
	基本事業	01	自主的な健康づくりの推進				
事業の目的	心身の健康に関する個別の相談に応じ必要な指導及び助言を行い、家庭における健康管理に資することを目的とする。						
事業の概要	40歳から64歳までの者を対象に、健診結果相談・栄養相談・健康相談等を実施し、保健師、管理栄養士等が指導及び助言を行う。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	1,851		1,871		1,817	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 計画	令和3年度 計画
	成果	健康相談を受けた人数	人	2,558	1,602	1,390	
			%				
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明	各種相談事業のうち、温泉相談の対象者の要望により自動血圧計を設置し相談方法を見直したことにより、対面による健康相談数は減少となった。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	●見直し継続 ○現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ○現状 ●縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	さくら市食生活改善推進員協議会補助事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	健康福祉部 健康増進課		担当者	鈴木由佳			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり				
	基本事業	01	自主的な健康づくりの推進				
事業の目的	食生活改善推進員協議会による地区組織活動の費用の一部を負担し、地域の健康づくりに寄与する。						
事業の概要	市民の健康意識の向上と推進を図るため、さくら市食生活改善推進員協議会の事業を健康増進事業と認定して事業経費として43,000円の補助金を交付する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	43		43		43	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 計画	令和3年度 計画
	活動	会員の年間活動延参加人数	人	280	130	150	
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明	年々会員が減少するなか、現会員で積極的に活動に参加し、できる限り多くの市民に食生活改善についての周知と啓発をし、生活習慣病の予防に努めている。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	●見直し継続 ○現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ○現状 ●縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	健康まつり開催事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	健康福祉部 健康増進課		担当者	野中元子			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり				
	基本事業	01	自主的な健康づくりの推進				
事業の目的	市民が心身共に健康でいきいきと生活できるようにするため、健康づくりのための様々な取組を広く周知し、健康づくりに対する意識の向上を図ることを目的に事業を実施する。						
事業の概要	ゆめさくら博開催時の参加団体として10月に実施。健康相談や健康づくり団体の活動紹介など、健康に関する正しい知識の普及と健康づくりの意識の向上を目的に開催する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	527		498		535	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 計画	令和3年度 計画
	成果	健診、相談、体験コーナー等の来場参加数	人	1,900	1,396	1,400	1,400
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	健康情報コーナー、健康チェック体験コーナー、健康相談コーナー、栄養相談コーナー、歯科相談コーナーともに参加者数が増加し、次年度以降も広報等の周知に努めることで多くの市民を集客し、心身の健康づくりの推進に結び付くイベントとしたい。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	生活習慣病予防事業			事業開始年度	平成24年度		
担当課	健康福祉部 健康増進課		担当者	鈴木由佳			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり				
	基本事業	01	自主的な健康づくりの推進				
事業の目的	生活習慣病予防や健康に関する正しい知識の普及啓発を図り、自らの健康は自らが守るという認識と自覚を高め、健康の保持増進を資する。						
事業の概要	5月から3月にかけて月1回運動教室（貯筋フィットネス・日本一周ウォーキング）・健康教室（病態講話・調理実習・試食）等の実践体験をし健康増進を図る。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	516		507		554	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 計画	令和3年度 計画
	成果	日常生活の中で身体活動を実施していない人の割合の減少	%	44.8	44.7	40	
	成果	運動を実施していない人の割合の減少	%	60.3	59.6	55	
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	事業への参加者は65歳以上の高齢者が多く、働き世代へのアプローチが課題である。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	●見直し継続 ○現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	●拡大 ○現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	各種がん検診事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	健康福祉部 健康増進課		担当者	鈴木由佳			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり				
	基本事業	02	保健予防対策の充実				
事業の目的	がん検診を受診することで、がんの早期発見・早期治療につなげ、がんによる死亡者の減少につなげる。						
事業の概要	厚生労働省のがん検診の指針に基づき、各種がん検診を実施する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	63,876		62,043		74,037	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 計画	令和3年度 計画
	成果	がん検診精密検査の受診率（胃+肺+大腸+子宮+乳、前々年度）	%	76.4	78.1	80	
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ○多少は達成した ●達成できず					
	説明	精検未受診者への受診勧奨を実施したため、前年度に比べ精検受診率は増加している。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	●見直し継続 ○現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	●拡大 ○現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	がん検診推進事業			事業開始年度	平成22年度		
担当課	健康福祉部 健康増進課		担当者	鈴木由佳			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり				
	基本事業	02	保健予防対策の充実				
事業の目的	がん検診（乳がん・子宮頸がん）の受診率の向上を推進することにより、がんの早期発見、早期治療により、がんによる死亡者数を減少させる。						
事業の概要	国の基準による子宮がん検診（20歳）・乳がん検診（40歳）の初年度の受診対象者に無料クーポン券を配布するほか、受診率向上に効果のある個別受診勧奨を実施。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	824		1,037		1,416	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 計画	令和3年度 計画
	成果	クーポン券を利用した人数（子宮がん・乳がん）	人	93	122	115	
	成果	クーポン利用者のうち精密検査の受診率	%	100	100	100	
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	受診勧奨したことで、クーポン券利用者数は増加している。クーポン利用者の精検受診率は100%であり、おおむね達成している。					
見直し余地	判定	●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	●拡大 ○現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	乳幼児健診事業			事業開始年度	平成29年度		
担当課	健康福祉部 健康増進課		担当者	高根 幸江			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり				
	基本事業	02	保健予防対策の充実				
事業の目的	乳幼児の心身の発育・発達を総合的に診査し疾病障害の早期発見・早期対応を図り、健全な児の発育発達を促すとともに育児支援を行う。						
事業の概要	4ヵ月児と股関節脱臼、10ヵ月児、1歳6ヵ月児、2歳6ヵ月児、3歳6ヵ月児、5歳6ヵ月児健診を各年12回実施。身体計測、発達チェック、診察等を実施する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	8,285		7,953		8,005	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 計画	令和3年度 計画
	成果	3歳6ヵ月児健診受診率	%	99.1	96.2	99.5	
	成果	3歳6ヵ月児健診でう歯のない児の割合	%	80.6	78.8	80	
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い、R2.3月実施分の健診が延期になったため受診率は低下した。 う歯のない児童の割合は、若干下がってる。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	●見直し継続 ○現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	●拡大 ○現状 ○縮小		業務量	●拡大 ○現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	母子保健推進事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	健康福祉部 健康増進課		担当者	高根 幸江			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり				
	基本事業	02	保健予防対策の充実				
事業の目的	母子の一貫した健康管理と健康の保持増進がなされる。 父親の育児参加が増える。						
事業の概要	母子健康手帳の交付、ママパパ学級開催、乳幼児相談、のびのび発達相談、こども発達相談、ことばの相談、すこやか2次相談、ぷちとまと教室、ばんび教室、とまと教室等						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	1,700		2,510		1,813	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 計画	令和3年度 計画
	成果	親子支援事業、発達障害児早期発見事業の参加者数	人	754	763	743	
	成果	4か月児健診で父親が育児に協力的と答えた母の割合	%	94.4	93	95	
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明	4か月児健診で父親が育児に協力的と答えた母の割合は減少している。					
見直し余地	判定	●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	●見直し継続 ○現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	妊産婦健康診査事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	健康福祉部 健康増進課		担当者	高根 幸江			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり				
	基本事業	02	保健予防対策の充実				
事業の目的	経済的負担の軽減を図り妊産婦健康診査受診率を向上する。 未受診者について確認することにより虐待予防に務める。						
事業の概要	妊婦健康診査14回、産婦健診2回費用の助成を行っている。県外医療機関で契約できない医療機関は扶助費で対応している。新生児聴覚検査の助成						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	30,900		34,523		37,618	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 計画	令和3年度 計画
	成果	受診票交付者のうち、妊婦健診の受診者数（延べ人数）	人	4,132	4,312	4,200	
	成果	産婦健診（産後2週間と1か月の2回受診者）受診率	%	83.7	84	85	
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明	妊婦健診の延受診者数は昨年度より増加している。産後健診は、実施していない医療機関があるため横ばいである。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	教職員健康診断事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	教育委員会 学校教育課			担当者	小野康二郎		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり				
	基本事業	02	保健予防対策の充実				
事業の目的	教職員に対する福利厚生 の充実、疾病の早期発見・予防及び健康増進を図る						
事業の概要	学校保健安全法に基づき、市内小中学校勤務の教職員に対し定期健康診断及び結核検診を実施する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	2,490		2,197		2,608	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 計画	令和3年度 計画
		定期健康診断受診者数	人	113	115	113	113
		結核検診受診者数	人	308	315	315	315
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	教職員に対して定期健康診断及び結核検診を実施した。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	人間ドック補助事業		事業開始年度	平成26年度			
担当課	市民生活部 市民課		担当者	小堀 梨絵			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり				
	基本事業	02	保健予防対策の充実				
事業の目的	疾病の早期発見により医療費抑制						
事業の概要	人間ドック・脳ドックを受診した30歳以上の被保険者の受診者に20,000円の補助を行う。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	7,540	7,760	8,000			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 計画	令和3年度 計画
	活動	人間ドック補助件数	件	377	388	400	400
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	R1 目標400に対し実績388					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小	業務量	○拡大 ●現状 ○縮小			

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	結核検診事業		事業開始年度	平成26年度			
担当課	健康福祉部 健康増進課		担当者	鈴木由佳			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり				
	基本事業	02	保健予防対策の充実				
事業の目的	結核の発生を予防し、及びその蔓延の防止を図り、もって公衆衛生の向上及び増進を図る。						
事業の概要	65歳以上の市民を対象として、年1回の結核に係る定期的健康診断を行う。高齢者への配慮として、地区の公民館等身近な会場でのバス検診を実施。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	793	81	999			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 計画	令和3年度 計画
	成果	65歳以上の肺がん・結核検診の延べ受診者数	人	3,865	3,585	4,000	
	成果						
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明	新型コロナウイルス感染症予防のため、3月実施予定のバス巡回による結核検診が中止となり、受診者数が減少した。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	●見直し継続 ○現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小	業務量	○拡大 ●現状 ○縮小			

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	不妊治療費助成事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	健康福祉部 健康増進課		担当者	高根 幸江			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり				
	基本事業	02	保健予防対策の充実				
事業の目的	少子化対策						
事業の概要	不妊治療（体外受精・顕微授精・人工授精）を行った法律上の夫婦に対して不妊治療に要した費用の一部を助成する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	5,845		6,419		6,650	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 計画	令和3年度 計画
	成果	助成実人数の内、妊娠届出者数	件	12	24	24	
	成果	助成実人数に占める妊娠届出者数の割合	%	22.2	42.9	40	
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明	助成実人員が増加したため、助成実人員に占める妊娠届出者数、妊娠届出者数の割合とも増加した。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	健康診査事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	健康福祉部 健康増進課		担当者	鈴木由佳			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり				
	基本事業	02	保健予防対策の充実				
事業の目的	生活習慣病予防のため、正しい知識の普及啓発と疾病の早期発見に努める。						
事業の概要	30代からの生活習慣病予防、歯周病検診、肝炎ウイルス検査、骨粗しょう症検診、胃がんリスク検診など幅広く健康診査を実施する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	14,756		18,329		17,983	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 計画	令和3年度 計画
	成果	30代への保健指導実施割合	%	80.2	90.7	85	
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	対象者に個別通知や電話勧奨等を行っており、前年より参加者割合が増加した。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	後期高齢者健診事業費			事業開始年度	平成20年度		
担当課	市民生活部 市民課		担当者	櫻井 敦子			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり				
	基本事業	02	保健予防対策の充実				
事業の目的	生活習慣病の早期発見により、後期高齢者の健康の保持増進を図り、生活の質を確保し、安心で安定した生活の向上に資する。						
事業の概要	保健センターでの集団健診、指定医療機関での人間ドック及び市内医療機関での個別健診を実施						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	9,287		9,836		11,842	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 計画	令和3年度 計画
	成果	受診率（市町村報告受診率）	%	23.76	28.84	29	29
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明	目標値 25%に対し28.84%					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	●拡大 ○現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	特定健康診査等事業費			事業開始年度	平成20年度		
担当課	市民生活部 市民課		担当者	小堀 梨絵			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり				
	基本事業	02	保健予防対策の充実				
事業の目的	特定健康診査により生活習慣病（メタボリック症候群）の抑制を図る。						
事業の概要	40歳以上の者に対して特定健康診査及び特定保健指導を実施する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	20,859		20,170		25,597	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 計画	令和3年度 計画
	成果	受診率	%	46.7	46.5	60	60
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ○多少は達成した ●達成できず					
	説明	目標値が高く、達成するのは難しい状況。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	●拡大 ○現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	新型インフルエンザ等対策事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	健康福祉部 健康増進課			担当者	野中元子		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり				
	基本事業	02	保健予防対策の充実				
事業の目的	新型インフルエンザ診療に従事する医療関係者並びに業務を継続する市職員等を感染から守る。						
事業の概要	新型インフルエンザ等の発生による健康被害とそれに伴う社会的影響を想定し行動計画を策定。行政機関が行う業務継続の維持を確保するため発生前に防護具等を購入備蓄する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	589		630		641	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 計画	令和3年度 計画
	成果	防護服備蓄数	セット	1,765	1,865	1,965	2,065
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	防護具等を多く装備することで、感染症被害を抑制できる。また例年、防護服脱着訓練を実施することで、危機対応能力の底上げ、危機管理に対する意識付けにつながっていると考える。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小			業務量	○拡大 ●現状 ○縮小	

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	任意予防接種事業		事業開始年度	平成29年度			
担当課	健康福祉部 健康増進課		担当者	高根 幸江			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり				
	基本事業	02	保健予防対策の充実				
事業の目的	予防接種法に基づく「定期接種」以外で日本で受けられる予防接種と、定期接種の期間外に受ける任意予防接種費用を助成しり患者を減らす。						
事業の概要	子どものインフルエンザ助成は、前年通りに実施。新規で助成するロタウイルスワクチンは1価（2回接種）は7,500円を、5価（3回接種）は5,000円を助成する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	17,825	19,362	16,501			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 計画	令和3年度 計画
	成果	子どものインフルエンザ延接種児数	人	5,683	5,674	5,700	
	成果	ロタウイルスワクチン延接種児数	人	677	608	-	
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明	子どものインフルエンザは、前年同様である。令和元年度末に新型コロナウイルス感染症に伴い医療機関受診を控えロタウイルスは、減少したと思われる。					
見直し余地	判定	●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	●拡大 ○現状 ○縮小		業務量	●拡大 ○現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	糖尿病重症化予防事業		事業開始年度	令和元年度			
担当課	市民生活部 市民課	担当者	小堀 梨絵				
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり				
	基本事業	02	保健予防対策の充実				
事業の目的	医療費の抑制						
事業の概要	栃木県糖尿病重症化予防事業プログラムに沿って行う事業						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	0	304	2,249			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 計画	令和3年度 計画
		保健指導実施者数	人		3	10	20
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明	保健指導実施者5人を目標にしていたが、達成できなかった。健康意識の差により不参加となる方が多数いたことから、周知方法の検討を要する。					
見直し余地	判定	●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	●見直し継続 ○現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小	業務量	●拡大 ○現状 ○縮小			

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	公的病院等支援事業			事業開始年度	平成27年度		
担当課	健康福祉部 健康増進課		担当者	野中元子			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり				
	基本事業	03	地域医療体制の整備				
事業の目的	救急医療の確保及び地域医療の充実を図る。						
事業の概要	救急医療などの不採算医療における機能維持を図ることが多大な困難を極める中で、当該医療を担う公的病院等に対し、地域医療体制の維持を図るため、交付金を交付。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	0		13,000		13,000	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 計画	令和3年度 計画
	成果	救急患者の受け入れ延べ人数	人		2,551	2,600	2,600
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	救急医療の確保等を目的としているため、対象病院の救急患者受け入れ延べ数を指標とした。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	氏家保健センター管理事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	健康福祉部 健康増進課		担当者	野中元子			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり				
	基本事業	99	総合事業				
事業の目的	市民の総合的な保健衛生の向上及び健康づくりの推進に寄与する。						
事業の概要	健康相談、保健指導及び健康診査等の地域保健に関し必要な事業を行うための施設の使用と、センター施設の良好な維持管理のため、消防、空調等保守業務、修繕等を行う。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	4,400		5,601		5,053	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 計画	令和3年度 計画
	成果	センター稼働率	%	80	81.7	82	
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	保健センター来所者が不都合なく利用できるように維持管理に努め、そうすることにより地域保健事業の充実し、心身の健康づくりの推進につながっている。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	喜連川保健センター管理事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	健康福祉部 健康増進課		担当者	野中元子			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり				
	基本事業	99	総合事業				
事業の目的	市民の総合的な保健衛生の向上及び健康づくりの推進に寄与する。						
事業の概要	健康相談、保健指導及び健康診査等の地域保健に関し必要な事業を行うための施設の使用と、センター施設の良好な維持管理のため、消防、空調等保守業務、修繕等を行う。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	3,238		3,041		3,788	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 計画	令和3年度 計画
	成果	センター稼働率	%	84.7	71.6	72	
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	保健センター来所者が不都合なく利用できるように維持管理に努め、そうすることにより地域保健事業が充実し、心身の健康づくりにつながっている。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	骨髄移植ドナー支援事業			事業開始年度	平成28年度		
担当課	健康福祉部 健康増進課		担当者	鈴木由佳			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり				
	基本事業	99	総合事業				
事業の目的	骨髄等の提供時の経済的負担を軽減することで提供者を支援し、移植の推進やドナー登録の増加を図る。						
事業の概要	骨髄又は末梢血幹細胞を提供した者及びその者が勤務する事業所等に対し、助成金を交付する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	420		140		210	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 計画	令和3年度 計画
	活動	交付申請者数	人	3	1	1	
	活動	交付申請事業所数	件	0	0	1	
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	骨髄等の提供者の経済的負担を軽減することで提供へのハードルを下げ、移植の推進やドナー登録者、提供者の増加が図れる。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		